

「生態系に配慮した緑化のための講習会」開催のお知らせ

東京都では、東京に自然分布している植物（在来種）を植栽することで、昆虫や鳥などの動物も含めて、東京の生きものに適した環境を回復させるための取組である「江戸のみどり登録緑地」など、生態系に配慮した緑化の普及拡大を進めています。

このたび、緑化に関わる事業者の方や行政関係の方をはじめ、広く緑化に関心のある方を対象に、「生態系に配慮した緑化のための講習会」を開催します。

先進的な取組を実施している緑地において、人にも生きものにも優しい緑化に取り組む際のポイント、現場におけるノウハウ等を学ぶことができる機会です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

○参加費

無料。

○受講生募集期間

令和元年 10 月 1 日（火曜日）から同年 10 月 14 日（月曜日）まで

※定員を超えた場合、抽選により受講生を決定します。

受講の可否は、同年 10 月 15 日（火曜日）に通知します。

※定員を超えない講習は、同年 10 月 15 日（火曜日）以降も受講生を募集します。（先着順）

○申込方法

環境局のホームページで参加申込を受け付けます。

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/green_biodiv/index.html

○講習会概要

会場、講習内容、集合場所等の詳細は別紙をご覧ください。

第 1 回 飯野ビルディング、日比谷パークフロント

令和元年 11 月 7 日（木曜日）13:00～16:10（受付開始 12:40） 定員 30 名

第 2 回 ミサワパーク東京、三菱地所世田谷ハウス

令和元年 11 月 11 日（月曜日）13:00～16:15（受付開始 12:40） 定員 25 名

第 3 回 三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館（同日 2 回開催）※ 2 回とも同じ内容です。

令和元年 11 月 13 日（水曜日）13:00～14:30（受付開始 12:40） 定員 15 名

14:45～16:15（受付開始 14:25） 定員 15 名

第 4 回 アークヒルズ 仙石山森タワー（同日 2 回開催）※ 2 回とも同じ内容です。

令和元年 11 月 21 日（木曜日）13:00～14:20（受付開始 12:40） 定員 15 名

14:40～16:00（受付開始 14:20） 定員 15 名

第 5 回 ビオガーデン「フジクラ 木場千年の森」

令和元年 11 月 25 日（月曜日）13:30～16:00（受付開始 13:00） 定員 30 名

「2020 年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020 年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマート シティ 政策の柱 3 豊かな自然環境の創出・保全」

＜問合せ先＞

環境局 自然環境部 計画課 計画担当
03-5388-3548

第1回 飯野ビルディング、日比谷パークフロント

周辺のみどりにつながる オフィスビルにおける生態系に配慮した緑化

1 日時

令和元年 11 月 7 日（木曜日）13：00～16：10 （受付開始 12：40）

2 会場及び講習内容

（1）緑地概要説明

日比谷図書文化館 4 階 スタジオプラス（小ホール）（東京都千代田区日比谷公園 1-4）

（2）現地講習

飯野ビルディング （東京都千代田区内幸町 2－1－1）

日比谷パークフロント（東京都千代田区内幸町 2－1－6）

3 定員

30 名

4 雨天時

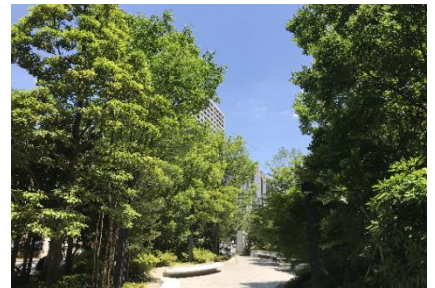
少雨決行。大雨時は、日比谷図書文化館にて緑地概要説明等を実施。

<現地講習先 緑地紹介>

飯野ビルディング

飯野ビルディングは、「100 年先まで愛されるビル」をコンセプトとした最先端の環境配慮ビルです。その屋外緑地「イイノの森」では、都市における生物多様性の保全と創出を目指し、周辺の環境に適した在来種主体の森づくりに取り組んでいます。

植栽計画は、潜在自然植生を参考とし、皇居東御苑の雑木林、愛宕山神社の社叢林、愛宕山の斜面林など、周辺緑地の植生調査結果を反映して作成しました。維持管理においては、農薬を極力使用しない方針を定めるとともに、落ち葉を処分せずに残す、剪定枝の一部を緑地内に堆積して昆虫等のすみかをつくるなど、生きものへの配慮を行っています。



日比谷パークフロント

日比谷パークフロントは、日比谷公園に近接する立地特性を生かし、豊かな緑に包まれた「公園の中のオフィス」をコンセプトとして、オフィス環境のいたるところに緑と触れ合える機会を設けています。千代田区の生物多様性地域戦略を踏まえ、周辺の緑地空間と一体となって緑豊かな環境を創造することにより、緑の連続性を拡充し、地域全体の生物多様性の向上へ寄与することを目指しました。

在来種をベースとした植栽に加え、地域に飛来・生息する鳥やチョウの食餌木や食草を取り入れる、巣箱やバードバスを設ける等の工夫を行っています。



集合場所（雨天時も同じ）

日比谷図書文化館 4 階

スタジオプラス（小ホール）

（東京都千代田区日比谷公園 1-4）

- 東京メトロ丸の内線・日比谷線「霞ヶ関」駅

B2 出口 徒歩 3 分

- 都営地下鉄三田線「内幸町」駅

A7 出口 徒歩 3 分

- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関」駅

C4 出口 徒歩 3 分

- JR「新橋」駅

日比谷口 徒歩 10 分



第2回 ミサワパーク東京、三菱地所世田谷ハウス

住環境のみどりから東京のエコロジカルネットワークを広げる

1 日時

令和元年 11 月 11 日（月曜日）13:00～16:15 （受付開始 12:40）

2 会場及び講習内容

（1）緑地概要説明

ミサワパーク東京 ホール（東京都杉並区高井戸東2-4-5）

（2）現地講習（ミサワパーク東京から世田谷ハウスまではマイクロバス移動）

ミサワパーク東京 （同上）

世田谷ハウス （東京都世田谷区）

※講習終了後、世田谷ハウスから小田急線千歳船橋駅までバスにてお送りします。

3 定員

25 名

4 雨天時

少雨決行。大雨時は、ミサワパーク東京ホールにて緑地概要説明等を実施。

<現地講習先 緑地紹介>

ミサワパーク東京

ミサワホームでは、住宅地の庭を通じて植物や生きものの大切さやつながりを体感できるデザイン手法「GDD（グリーン・ドット・デザイン）」により、庭のみどりを地域のみどりとなつなげ、より広範囲での生物多様性保全やみどりの質の向上に寄与することを目指しています。

住宅展示場「ミサワパーク東京」では、GDDを採用し、地域の植生との連続性や生物多様性に配慮したエクステリアの設計を行いました。環境調査の結果をもとに、ケヤキの既存樹木を残しながら、在来種を中心に鳥類の食餌木を数多く植栽しています。毎年実施している生きもの調査では、敷地内の生きものの種数の大幅な増加が確認されるなど、「高井戸の貴重な資源」として地域の生態系に貢献する効果が現れています。



世田谷ハウス

三菱地所レジデンスでは、自社マンションにおいて生態系に配慮した植栽計画を行い、マンションのみどり（点）と周辺のみどりをつないで“面”に波及させる取組「BIONET INITIATIVE（バイオ ネット イニシアチブ）」を実践しています。

世田谷ハウスは、生物多様性保全の取組について、効果や課題を抽出する実験の場です。ここで得られた失敗例を含む多くのノウハウは、三菱地所グループが開発・運営する集合住宅等において、外構・緑地づくりに活用しています。また、居住者と共生できる地域に根差した植生の創出、外来種対策や地中の小動物に対する配慮などの工夫を積極的に取り入れて、情報発信を行う「モデル庭園」でもあります。実験と検証を繰り返しながら、生物多様性と住環境の快適性の両立を模索しています。



集合場所（雨天時も同じ）

ミサワパーク東京

（東京都杉並区高井戸東2-4-5）

●京王井の頭線「高井戸」駅

徒歩 8 分

●京王線「八幡山」駅

徒歩 15 分



第3回 三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館

皇居と上野不忍池をみどりでつなぎ、エコロジカルネットワークの拠点をつくる

1 日時（同日2回開催） ※2回とも同じ内容です。

令和元年11月13日（水曜日）

1回目：13:00～14:30（受付開始12:40）

2回目：14:45～16:15（受付開始14:25）

2 会場及び講習内容

（1）緑地概要説明

ECOM 駿河台（東京都千代田区神田駿河台3-11-1）

（2）現地講習

三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館（東京都千代田区神田駿河台3-9、3-11-1）

3 定員

各回15名

4 雨天時

少雨決行。大雨時は、ECOM 駿河台にて緑地概要説明等を実施。

<現地講習先 緑地紹介>

三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館

三井住友海上火災保険株式会社では、1984年の駿河台ビル（本社ビル）の竣工当初より大規模な屋上庭園を設置するとともに、2012-13年の駿河台新館の建設、駿河台ビルの改修では、「“いきもの”と“まち”との共生」をコンセプトに掲げるなど、常に時代をリードする緑づくりに取り組んでいます。

皇居と不忍池の間に位置する緑地が、両拠点を往来する野鳥の羽休め場所となるように緑量を増加するとともに、過去からの野鳥観察データをもとに誘致目標種を設定し、その野鳥が好む在来種や、チョウなどを誘引する蜜源植物などを一本ずつ選定しました。予防的な薬剤散布は行わず、生きもののモニタリングや土壌診断の結果は、植栽や維持管理に反映させています。



集合場所（雨天時も同じ）

ECOM 駿河台

（東京都千代田区神田駿河台3-11-1）

- JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅
聖橋口 徒歩5分
- 都営地下鉄新宿線「小川町」駅
B3b 出口 徒歩10分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅
B3b 出口 徒歩5分
- 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅
1番出口 徒歩8分



第4回 アークヒルズ 仙石山森タワー

「伝わる・伝える」生態系に配慮した緑地の設計と活用

1 日時（同日2回開催）※2回とも同じ内容です。

令和元年 11 月 21 日（木曜日）

1 回目：13：00～14：20 （受付開始 12：40）

2 回目：14：40～16：00 （受付開始 14：20）

2 会場及び講習内容

現地講習

アークヒルズ 仙石山森タワー（東京都港区六本木1-9-10）

3 定員

各回 15 名

4 雨天時

少雨決行。

大雨時は、屋内にて緑地概要説明等を実施。

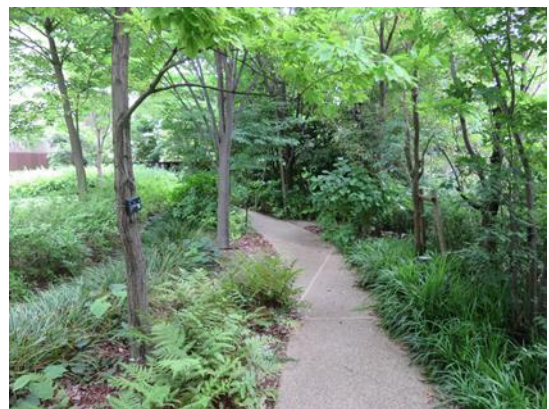
<現地講習先 緑地紹介>

アークヒルズ 仙石山森タワー

2012 年に港区の大使館が立ち並び一画に完成した「アークヒルズ 仙石山森タワー」の敷地には、周囲との連続性やまともに配慮して設計された約 4,000 m²の緑地が広がっています。

高低差のある地形や表土を活かしつつ、地域本来の植生をベースとしたスタジイやアラカシ、ヤブツバキ、エゴノキなどの多様な在来種の植物を階層的に植栽することで、その土地らしい景観をつくり出しています。

「こげらの庭」と呼ばれるエリアには、生きものに配慮した、合わせて 340 m²もの水辺や草場が広がるとともに、敷地全体が昆虫や鳥などの生きもののすみかや餌場となるよう、40 本を超える枯れ木や空石積みによる土留め、落ち葉だめを設置するなど様々な工夫がなされています。



集合場所

アークヒルズ 仙石山森タワー 仙石山プラザ

（東京都港区六本木 1-9-10）

○雨天時集合

アークヒルズ 仙石山森タワー 1F オフィスロビー

●東京メトロ南北線

「六本木一丁目」駅

徒歩 5 分

●東京メトロ日比谷線

「神谷町」駅

徒歩 8 分



集合場所

仙石山プラザ
（仙石山森タワーの
メインエントランス
前）

○雨天時集合

1F オフィスロビー
（仙石山森タワーの
メインエントランス）

第5回 バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」

ESG時代において生態系に配慮した緑化に取り組む意義―地域の人と自然をつなぐ―

1 日時

令和元年 11 月 25 日（月曜日）13:30～16:00 （受付開始 13:00）

2 会場及び講習内容

（1）緑地概要説明

株式会社フジクラ 会議室（東京都江東区木場 1 - 5 - 1）

（2）現地講習

バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」（東京都江東区木場 1 - 2 - 15）

※深川ギャザリア内のほかの緑地についても、植栽場所の用途に応じてみどりのコンセプトを設定している事例紹介として併せて案内します。

3 定員

30 名

4 雨天時

少雨決行。大雨時は、会議室にて緑地概要説明等を実施。

<現地講習先 緑地紹介>

バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」

「フジクラ 木場千年の森」は、荒川流域の在来種を植栽したバイオガーデンです。“深川・木場地域の新たなアイデンティティの確立”をコンセプトとする「深川ギャザリア」内に、“江戸深川の原風景”を再現することを目指して作られました。

2つの池と小川を中心とした緑地には、スダジイやシラカシ、コナラなど70種類に及ぶ在来樹木のほか、水草を含めた多くの草本が植栽され、豊かな森が再現されています。

緑地の管理においては、除草剤や殺虫剤を極力使わず、手作業を基本とするなどの配慮を行い、カワセミやカルガモなどが飛来、営巣するなど、多様な生きものの棲みかとなっています。

近隣小学校や住民を対象とした生きもの観察会も開催し、地域の人と自然を「つなぐ」空間としても活用しています。



集合場所（雨天時も同じ）

株式会社 フジクラ

（東京都江東区木場 1-5-1）
フジクラ本社へおいでください。

- 東京メトロ東西線「木場」駅
徒歩 5 分

